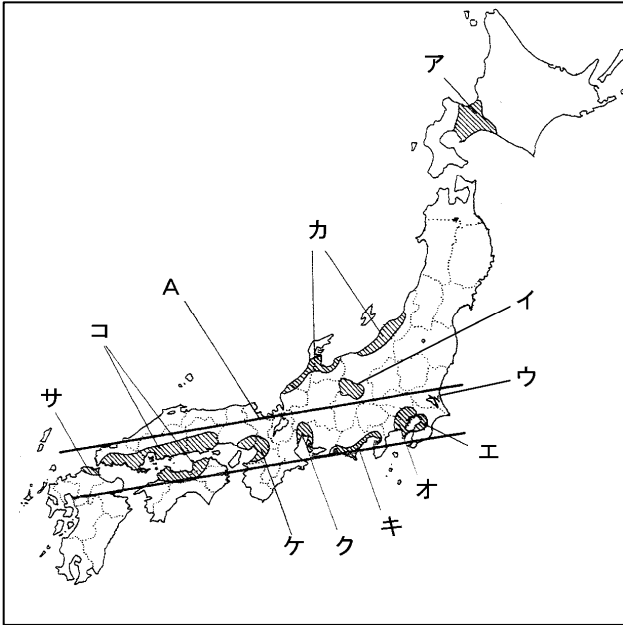


得点	<b>演習問題</b>			実施日	月 日	氏名
	日本の産業 ③					

【1】下の地図やグラフを見て、あとの問いに答えなさい。



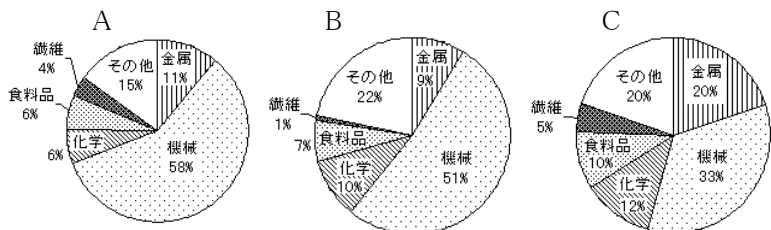
(1) 工業地帯の多くは原料・製品の輸送に便利な東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海、洞海湾の沿岸部に立地していることから、何とよばれているか。( ) 工業地帯

(2) 上の地図中のAには、工業地域が集中している。この地域をまとめて何とといいますか。( )

(3) 上の地図中のエ～サの工業地帯・工業地域をそれぞれ何とといいますか。

- |            |            |
|------------|------------|
| エ ( ) 工業地帯 | オ ( ) 工業地帯 |
| カ ( ) 工業地帯 | キ ( ) 工業地帯 |
| ク ( ) 工業地帯 | ケ ( ) 工業地帯 |
| コ ( ) 工業地帯 | サ ( ) 工業地帯 |

(4) 下のグラフは、生産額の多い3つの工業地帯の工業の種類別出荷額の内訳を現しています。それぞれどの工業地帯のものでしょうか。地図中のア～サから選び、記号を答えなさい。



( ) ( ) ( )

(5) 多くの工場が沿岸部に立地しているのはなぜか。理由を書きなさい。 [ ]

(6) 近年、内陸部の工業化が進み、高速道路のインターチェンジの近くに、工場が建設されている。この工場の種類を、下のア～エから1つ選びなさい。( )

- ア パルプ    イ IC    ウ 食料品    エ 繊維

(7) (6)の工場が高速道路のインターチェンジの近くに、工場が建設されているのはなぜか。理由を書きなさい。

[ ]

【2】次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本は、A「原料を輸入して、製品を輸出する」貿易に大きく依存している。このため、貿易相手の情勢や海外市場の影響を受けやすい。また、1980年代、外国製品との競合や関税による、(ア)がおこり、産業の転換をせまられた。そこで、(イ)の安い東南アジアや、(ウ)に工場を建設して技術を移植したり、国内の市場を開拓することに重点をおいたりして、存続の努力をしている企業も多く見られるようになった。貿易に依存すればするほど、国際競争の波にさらされ、ときには B対立がおこる。すでに、(エ)などの電化製品については、Cアジアニーズ(NIES)が日本をしのいでいるのが実情である。

(1) 文中の( )にあてはまる語句を書きなさい。

ア( )    イ( )

ウ( )    エ( )

(2) 下線部 A のような貿易を何とといいますか。( )

(3) 下線部 B のような対立を何とといいますか。漢字4字で答えなさい。( )

(4) 下線部 C の「アジアニーズ」と日本の輸出額を比較して、日本がまだ圧倒的な強さをもっている製品は何ですか。ア～ウから1つ選びなさい。( )

- ア IC    イ 自動車    ウ テレビ

【3】日本の貿易の特色について、次の問いに答えなさい。

(1) 工業の原材料を海外から輸入して、生産した製品を輸出する貿易の形を何とといいますか。( )

(2) 近年の日本の貿易は、得意分野である工業製品を海外からも輸入するようになってきているが、おもにどの地域から輸入しているか。地域名を2つ書きなさい。( ) ( )

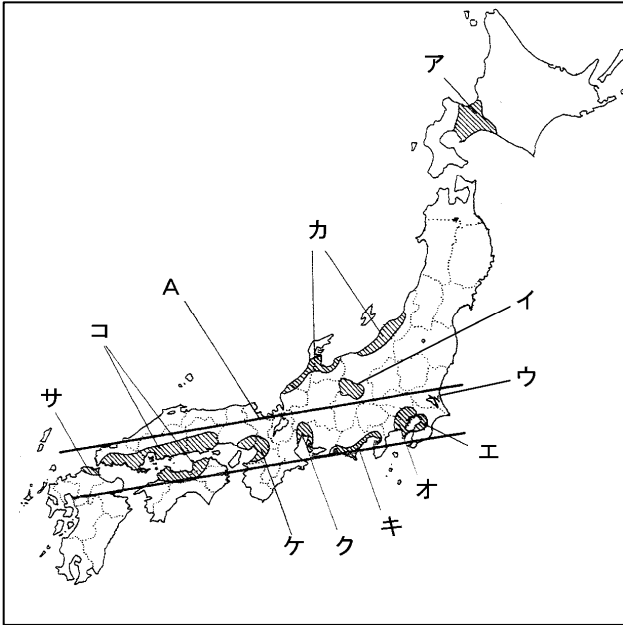
(3) 日本が石油を輸入している国のうち、上位2か国を答えなさい。( ) ( )

(4) 日本の貿易品の構成について説明している次の文のうち、正しくないものを1つ選びなさい。( )

- ア 日本からの輸出品のうち、7割以上が自動車や精密機械などの機械類である。  
 イ 日本は輸出額より輸入額のほうが多く、国際収支は赤字である。  
 ウ 輸出品のうち、約15%は自動車が占めている。  
 エ 輸入においても、輸出においても、第1位の品目は機械類である。

得点	<b>演習問題〔解答〕</b>	実施日	月 日	氏名

【1】下の地図やグラフを見て、あとの問いに答えなさい。



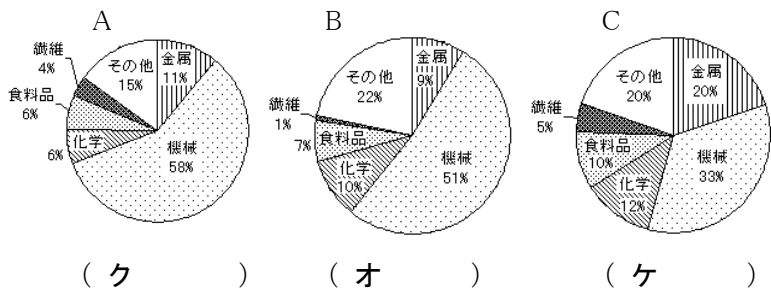
(1) 工業地帯の多くは原料・製品の輸送に便利な東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海、洞海湾の沿岸部に立地していることから、何とよばれているか。 ( 臨海 工業地帯 )

(2) 上の地図中のAには、工業地域が集中している。この地域をまとめて何とといいますか。 ( 太平洋ベルト )

(3) 上の地図中のエ～サの工業地帯・工業地域をそれぞれ何とといいますか。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| エ ( 京葉 ) 工業地域  | オ ( 京浜 ) 工業地帯  |
| カ ( 北陸 ) 工業地域  | キ ( 東海 ) 工業地域  |
| ク ( 中京 ) 工業地帯  | ケ ( 阪神 ) 工業地帯  |
| コ ( 瀬戸内 ) 工業地域 | サ ( 北九州 ) 工業地帯 |

(4) 下のグラフは、生産額の多い3つの工業地帯の工業の種類別出荷額の内訳を現しています。それぞれどの工業地帯のものでしょうか。地図中のア～サから選び、記号を答えなさい。



(5) 多くの工場が沿岸部に立地しているのはなぜか。理由を書きなさい。

〔 原料の輸入や、製品の輸出に便利だから 〕

(6) 近年、内陸部の工業化が進み、高速道路のインターチェンジの近くに、工場が建設されている。この工場の種類を、下のア～エから1つ選びなさい。 ( イ )

- ア パルプ    イ IC    ウ 食料品    エ 繊維

(7) (6)の工場が高速道路のインターチェンジの近くに、工場が建設されているのはなぜか。理由を書きなさい。

〔 製品が軽量で高価であり、トラックで輸送しても採算が取れるため工業用地の安い地方に進出している 〕

【2】次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本は、A「原料を輸入して、製品を輸出する」貿易に大きく依存している。このため、貿易相手の情勢や海外市場の影響を受けやすい。また、1980年代、外国製品との競合や関税による、(ア)がおり、産業の転換をせまられた。そこで、(イ)の安い東南アジアや、(ウ)に工場を建設して技術を移植したり、国内の市場を開拓することに重点をおいたりして、存続の努力をしている企業も多く見られるようになった。貿易に依存すればするほど、国際競争の波にさらされ、ときにはB対立がおこる。すでに、(エ)などの電化製品については、C「アジアニーズ(NIES)」が日本をしのいでいるのが実情である。

(1) 文中の( )にあてはまる語句を書きなさい。

ア( 貿易摩擦 )    イ( 労働力 )

ウ( 中国 )    エ( テレビ )

(2) 下線部Aのような貿易を何とといいますか。

( 加工貿易 )

(3) 下線部Bのような対立を何とといいますか。漢字4字で答えなさい。

( 貿易摩擦 )

(4) 下線部Cの「アジアニーズ」と日本の輸出額を比較して、日本がまだ圧倒的な強さをもっている製品は何ですか。ア～ウから1つ選びなさい。

ア IC    イ 自動車    ウ テレビ

【3】日本の貿易の特色について、次の問いに答えなさい。

(1) 工業の原材料を海外から輸入して、生産した製品を輸出する貿易の形を何とといいますか。 ( 加工貿易 )

(2) 近年の日本の貿易は、得意分野である工業製品を海外からも輸入するようになってきているが、おもにどの地域から輸入しているか。地域名を2つ書きなさい。

( 中国 )    ( 東南アジア )

(3) 日本が石油を輸入している国のうち、上位2か国を答えなさい。

( サウジアラビア )    ( アラブ首長国 )

(4) 日本の貿易品の構成について説明している次の文のうち、正しくないものを1つ選びなさい。 ( イ )

ア 日本からの輸出品のうち、7割以上が自動車や精密機械などの機械類である。

イ 日本は輸出額より輸入額のほうが多く、国際収支は赤字である。

ウ 輸出品のうち、約15%は自動車が占めている。

エ 輸入においても、輸出においても、第1位の品目は機械類である。